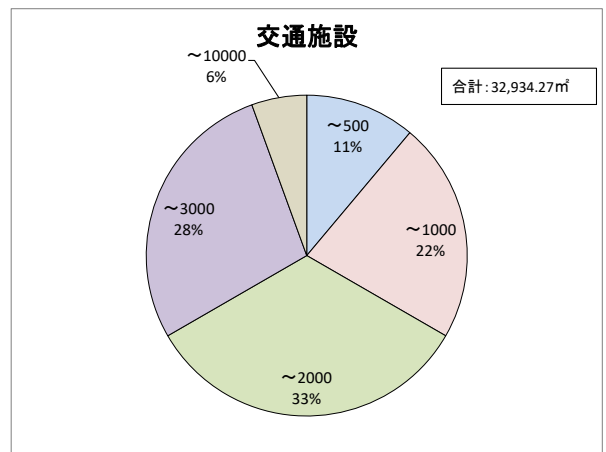
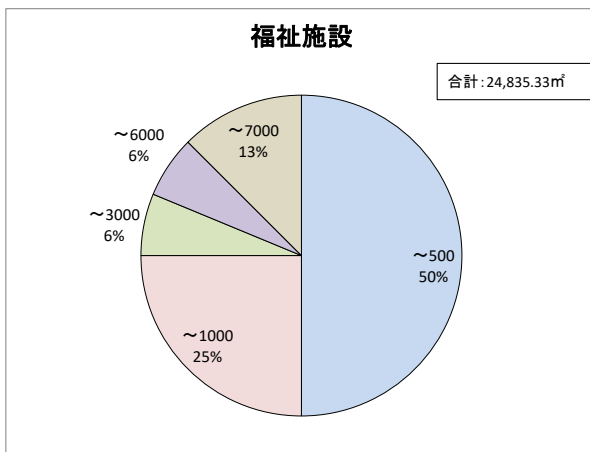
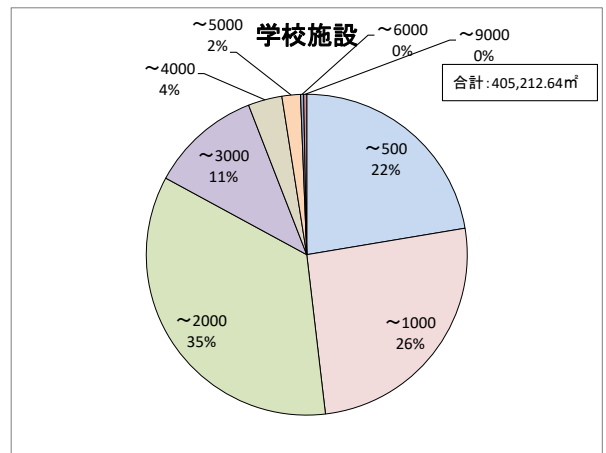
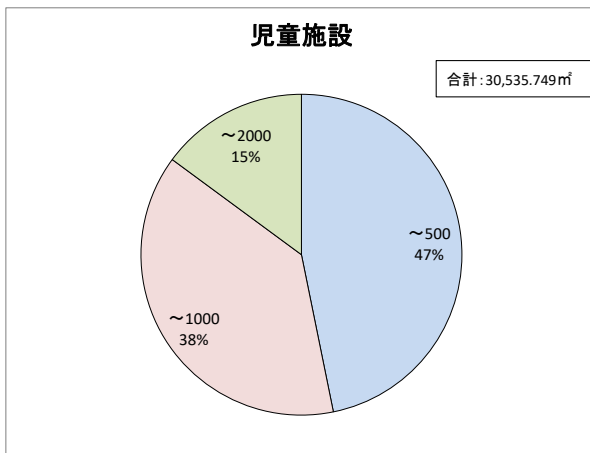
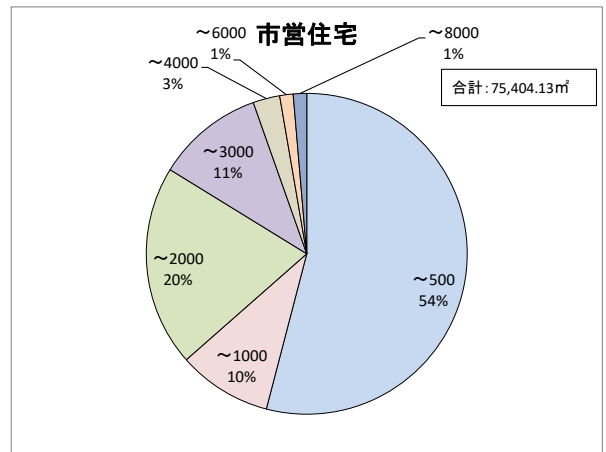
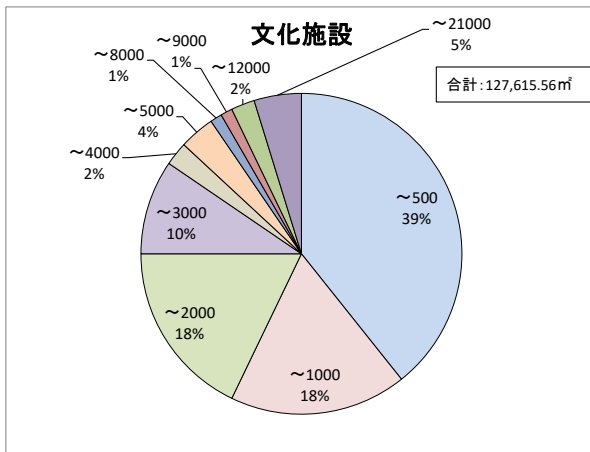
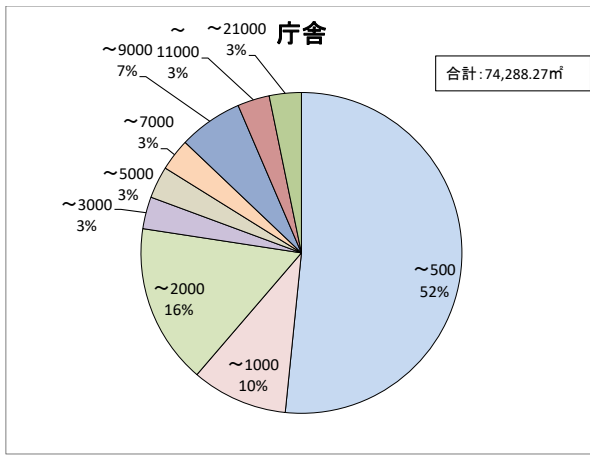


市有施設の分類と延床面積

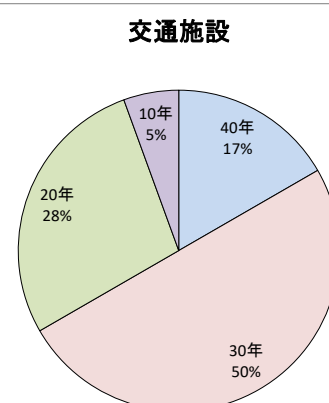
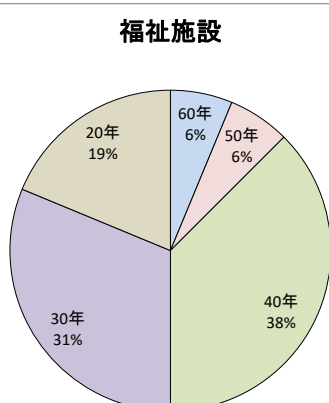
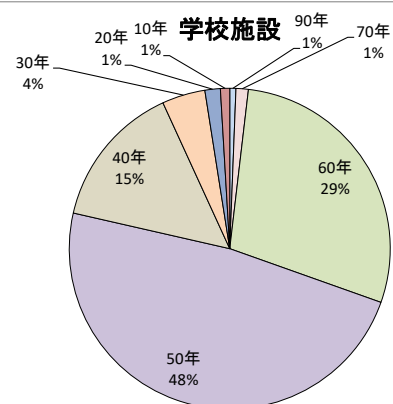
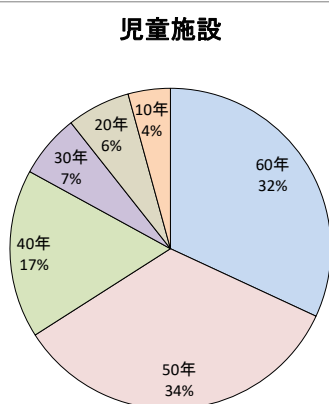
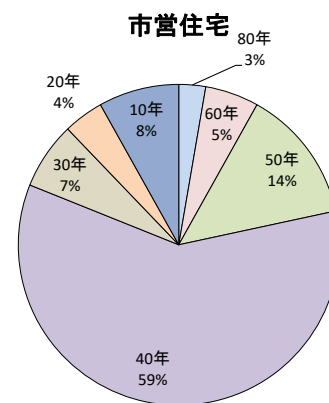
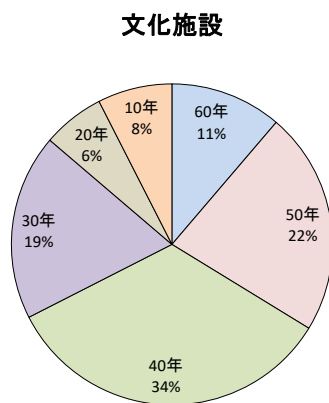
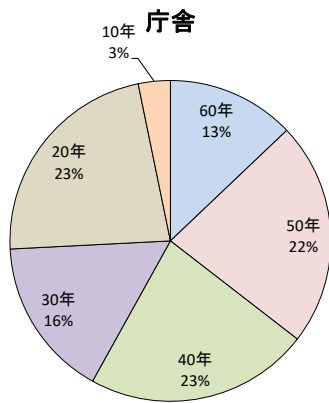
- ・庁舎、文化施設、児童施設、福祉施設、市営住宅、学校施設で延床面積1000㎡以下の建物が大半を占める。
- ・今後建替える際は、同じく延床面積1000㎡以下の建物が多く改築されていくと考えられる。



・今後、建物を改築していく場合、どの用途を中心に木造化・木質化を図るべきか。

市有施設の分類と築年数

- ・庁舎、文化施設、児童施設、福祉施設、市営住宅、学校施設で築年数40年以上のものが大半を占める。
- ・今後継続的に建物改修を行い内装を木質化することで、市有施設のほぼすべての分類で大半のものが木質化でき、継続的に木材の需要を生むことができる。



・今後建物を改修する際に、どの部分を中心に木質化を図るべきか。